

第2回磐田市立小・中学校通学区域審議会

- | | | | |
|---|------|-----------------------------|---------------------|
| 1 | 日 時 | 平成30年1月16日(火) | 午後2時00分から午後2時45分 |
| 2 | 場 所 | 磐田市役所西庁舎 | 3階303会議室 |
| 3 | 出席者 | | |
| | 鳥居節夫 | 市議会議員 | 小柳貴臣 市議会議員 |
| | 村上勇夫 | 磐田市自治会連合会会長 | 深田研典 磐田市自治会連合会副会長 |
| | 山田貴久 | 磐田市立磐田南小学校PTA会長 | 石山直 磐田市立城山中学校PTA会長 |
| | 川倉彰裕 | 磐田市立向陽中学校長 | 村松昌和 磐田地区社協連絡協議会副会長 |
| | 伊藤貴子 | 人権擁護委員 | 礪部公明 地域づくり応援課長 |
| | 鈴木智久 | 市民課長 | |
| 4 | 出席職員 | 教育長、学校教育課長、教育支援グループ長、担当指導主事 | |
| 5 | 傍聴人 | 0人 | |

●教育長挨拶

お忙しい中、御参加いただきありがとうございます。この頃、大変穏やかな日が続いていますが、頻りに学級閉鎖の情報が挙がってきます。乾燥しているのでインフルエンザには気を付けていきたいと思っています。

この通学区域審議会は、そこに住む方がどこの学校へ行くかということを決めていく単純明快な内容です。しかしそこにはいろいろなことが絡んでいます。まず通学区域の考え方ですが、①自由化、②指定、③指定及び弾力化の3つがあります。これまでの経緯ですと、磐田市はほとんど指定で行っています。中学校の部活動では隣接する中学校へ行くことができるという弾力化があります。基本的に、指定する中で弾力化しているということになります。指定と言っても完全に決めているわけではありません。何年も通学区域審議会を実施してきて、利便性と安全性を踏まえて一番適当になるように決定しています。東京などの都市部では学区の自由化が進んでいます。私立校との関わりの中で学校間格差が出て、地域性が変わってきて、不安定になっている中で自由化が行われています。磐田は都市部ではなく、また学校が安定しています。通学区域と自治会がポイントになってきます。小学校と交流センター・地域づくり協議会がほとんど対応している点を、磐田市のよさとして生かしていくためには、東京とは違う、地域によって違うことを考慮しなければなりません。地域とのかかわりの中で通学区域を考えていきます。行政が数合わせで線引きをするのではなく、自治会の方の考えが中心となるべきです。しっかり話し合いをして考えていきます。現在、学府一体校を推進しています。岩田小の児童は豊田中に行くのではないかと考えている方もいるかもしれませんが、利便性と安全性を考えて動いています。自治会の方と話をすることで、岩田地区を大切にしてもらいたいと思っています。向笠地区、大藤地区との3つのまとまりを大切にしていきたいと伺いました。基本は、今ある形を考えながら自治会の皆様と考えていきたいと思っています。

本日はよろしく申し上げます。

●会長あいさつ

地球温暖化とは言いながら、氷が張るような寒さの日もありましたが、今日は少し寒さも緩んできました。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

通学区域はこの審議会で決めるものではありません。自治会・保護者を中心とした地域からの課題が出てきたら、ここで審議をしていきます。特に課題がなければ2回目はなしということでしたが、現実と規則の食い違いがあり、整合性を図るのが今日の審議となります。また今後の課題として、委員の皆様が届いている要望・問題等がありましたら、出していただけたらと思います。私の方では磐田市全体を見て安定していて、要望等は届いておりませんが、それぞれの立場から出していただけたらと思います。よろしくお願いします。

●議事

○磐田市立小中学校通学区域規則改正について

(事務局説明)

磐田市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則として、4点を改正したいと考えています。

最初の改正ですが、附則を削除します。これは、豊岡北小学校と豊岡東小学校の統合に際して就学の配慮のために附則としてありましたが、現在は必要ありませんので、削除をするものです。

2点目ですが、別表第1の田原小学校の通学区域名の中の「明ヶ島、」を「明ヶ島の一部、」に改め、東部小学校の通学区域名の中に「明ヶ島の一部」を加えます。これは、学区を変更するのではなく、もともと付き合いが新貝であり、東部小学校の通学区域であった地域を規則で明文化するものです。開発されて新たに住む方が出て、このような実態が判明しました。もともとの通学区域に合わせるため、規則の修正を行います。

次の改正ですが、別表第3の特別支援学級（自閉症・情緒障害）の通学区域を当該小学校の通学区域に改めるものです。平成18年度に竜洋東小学校に特別支援学級（自閉症・情緒障害）が1年だけ開設されており、現在は休級となっています。竜洋東小学校には、平成30年度に再設の予定があります。そのため、実態に合わせて改正する必要が出てきました。今回の改正によって、市内全ての小中学校に特別支援学級の自閉症・情緒障害、知的障害の学級が設置されることとなりました。これに合わせて、これまで5つの表になっていたものを1つの表にまとめ整理しました。

最後の改正は別表第4になります。学区外就学・区域外就学の理由として、10の兄弟・姉妹関係を考慮する相当の理由があると認められる場合について、「相当期間」を「卒業まで」に改めます。これまで学区外就学・区域外就学の期間については、「相当期間」とされてきたものを必要に応じて修正してきました。兄弟関係については、相当期間となっており、卒業までであるのか、上の子が卒業するまでであるのか、期限がはっきりしませんでした。そのため、他の事由と同じく期限を定めることにより、適切に判断・処理できるようにするものです。卒業までを期限とするのは、下の子の教育環境を考えた際、卒業まで同一校で安定した学習を保証するためです。

(委員) 来年度から、一言南原自治会が井通協議会から中泉協議会に移ります。子どもたちは、以前から磐田西小、磐田第一中学校に通学していたので、通学区域には関係なく自治会だけが移行という解釈でよろしいでしょうか。

(委員) 通学区域は変わらず、地域として何も挙がってきていないので、問題ないということでもよろしいと思います。

(委員) 豊田南小の通学区域の「下万能の一部」は、現在はないのではないかと思います。青城小の「下万能の一部」は「一言の一部」になると思います。一言の住所の方で、下万能の自治会に入っている方がいます。その方は青城小に通っています。豊田南小の「下万能の一部」は1軒だけになると思います。

(教育長) 青城小の通学区域に「一言の一部」を追加するということですね。

(委員) 新しくできた団地で、住所が下万能でも一言の自治会に入っています。逆に昔から住んでいる方で、住所は一言でも下万能の自治会に入って青城小に通っている方もいます。

(委員) 青城小の通学区域に「一言の一部」を入れるということによいですか。

(事務局) 事実を確認させていただいて、その事実があれば入れるということ、ここでお認めいただいたということによろしいでしょうか。

(委員) 事務局で確認の上、現実にそうならなければ規則を修正するということによろしいでしょうか。

(一同同意)

**※ 事務局で後日確認したところ、一言の住所で青城小の通学区域に含まれている地域はなかった
ので、規則は現状のままとします。**

○今後の課題等について

(委員) 皆さんのところに何か要望等が入っていますでしょうか。

(委員) 豊田東小学校区に高見丘地区というところがあります。高台のほうになります。高見丘に新しく自治会を作ろうという動きがあります。そうすると下の富丘地区の方は、現在豊田東小に通っていますが、小中一体校になるときにそちらへ通いたいと言う声も出てくると思います。規則では、地域から申請があって、それに基づいて審議することになっていますが、地域の一部で「行政に任せよう」という声もあります。それでは問題がまとまらないと思いますので、やはり地域でまとめて意見を挙げてもらうという確認をしておいたほうが良いと思います。豊田支部あたりにそういう声が入っているのではないかと思うのですが。

(委員) 高台は高見丘ですが、下の方はなんと言う自治会になるのですか。

(委員) 匂坂下、匂坂西、上気賀、気賀東あたりになると思います。

(委員) 高見丘に自治会ができると、既存の下の4つの自治会が小さくなってしまう可能性もあります。自治会の編成が変わっても、通学区域には影響はないと思いますが、豊田東小に通っている子が豊田北部小に変わりたいという声は出てくると思います。

(委員) 自治会や保護者の声が挙がってくれば、対応していくことになると思いますが、豊田支部あたりに挙がっているのか確認してもらう必要があります。

(教育長) そのような声は聞こえてきています。

(委員) それなら、行政で決めるわけにはいかないから、地域に戻して話し合ってもらわなければならないですね。

(教育長) 一体校整備でも、質問で出ていますが、基本的な線をお願いしているところです。地域としては、地域をまとめるよりも行政がトップダウンでやってくれた方が楽ですので。なかなか全員をまとめることは難しいことです。ですが、十分に時間をかけてもらいたいと思います。

(委員) キャッチボールをしながら、だんだんにまとめてもらうしかないですね。ながふじ学府一体校がスタートするときには大きな課題となると思います。

(委員) 高見丘に自治会ができるときに課題となると思います。豊田東交流センターも高台にありますし、そちらで活動をした方がよいという皆さんの意見です。

(委員) 今ここで審議をするということではありませんが、今後課題になるということで確認をしたということによろしいでしょうか。

(一同同意)

(委員) 様々な御意見をいただき、ありがとうございました。